

Tax Provision Readme

リリース11.1.2.4.000

リリース 11.1.2.4.000

製作著作 © 2015

目次

目的	1
このリリースでの新機能	1
インストール情報	3
サポートされているプラットフォーム	4
サポートされている言語	4
サポートされているこのリリースへのパス	4
このリリースで修正された問題	5
既知の問題	5
ドキュメントの更新事項	6
ドキュメントのフィードバック	7
アクセシビリティの考慮事項	7

目的

このドキュメントには、このリリースのOracle Hyperion Tax Provisionに関する重要な最新情報が含まれています。Oracle Enterprise Performance Management Systemをインストールする前に、このReadmeを熟読してください。

このリリースでの新機能

新機能の詳細は、Oracle Hyperion Tax Provisionの管理者ガイドおよびOracle Hyperion Tax Provisionのユーザーガイドを参照してください。

このリリースのインストール、アーキテクチャおよびデプロイメントの変更に関連する新機能は、Oracle Enterprise Performance Management System Readmeのこのリリースの新機能に関する項を参照してください。

リリース11.1.2.0、11.1.2.1、11.1.2.2または11.1.2.3からメンテナンス・リリースを適用している場合、累積機能概要ツールを使用して、これらのリリース間で追加された新機能のリストを確認してください。このツールにより、現在の製品、現在のリリース・バージョンおよびターゲット実装リリース・バージョンを識別できます。1回のクリックで、ツールは現在とターゲットのリリース間に開発された製品機能の概要説明のカスタマイズされたセットをすばやく生成します。このツールはこちらにあります:

<https://support.oracle.com/oip/faces/secure/km/DocumentDisplay.jspx?id=1092114.1>

インストールの変更

Oracle Hyperion Tax ProvisionがEPMインストーラからインストールおよび構成できるようになりました。カスタム画面が自動的にインストールされるようになり、手動でデプロイする必要がなくなりました。

ワークスペース・メニュー・オプション

「ワークスペース」メニューにTax Provisionアプリケーションが表示される「Tax Provision」メニューが含まれるようになりました。Taxアプリケーションで、「連結」メニューが「Tax Provision」と呼ばれるようになりました。カスタム画面が「設定」でこのメニューにリストされるようになりました。

Smart Viewでの勘定科目の追加

HTPアクセラレータ・ユーティリティを使用して、迅速かつ容易に永久差異または一時差異勘定科目を追加できます。HTPアクセラレータ・ユーティリティがOracle Smart View for Officeアドインとしてインストールされ、永久差異または一時差異勘定科目をより簡単に追加できます。ユーティリティが「ツール」の下にあるインストール・メニューからインストールされます。Smart Viewを最初にインストールする必要があります。

税金管理画面

ロールオーバー・タスクのルールを実行して税金自動化を実行する中央の場所を提供する税金管理画面を使用して、ロールオーバー・プロセスを管理できるようになりました。

税金管理画面には、次のアクセシビリティ・ショートカットも含まれます: [Alt]+[t]の後にTab: 画面のフィルタ行の最初の列にフォーカスが置かれます。

台帳/税金のロールフォワード

新しいデータ・フォームおよびレポートが台帳/税金のロールフォワードに含まれます。台帳/税金のロールフォワードの期末の一時残高が一時差異の期末残高と一致することを確認するため、検証目的で台帳/税金のロールフォワードと一時差異の勘定科目の間にリンクを設定できます。

現在の未払税分析

TARの期末残高が現在の未払税分析と一致する検証を実行できるように、新しい現在の未払税データ・フォームと新しいオンデマンド・ルールが提供されます。

繰延税金スケジュールの税金の影響を受ける金額の入力

新しい繰延税金入力データ・フォームとレポート、DataCategoryメンバーおよびTaxRate UDプロパティが提供され、繰延税金のデータを入力できます。

税額控除勘定科目

追加のサンプルの税額控除勘定科目が提供され、未使用のクレジットの繰越しと対照的に税金に対するクレジットとして今年の税金の支払いを入力するために使用できます。

データのコピー

Oracle Hyperion Financial Managementのデータ・コピー機能を使用して、データのあるシナリオおよびレポート標準から別のシナリオおよびレポート標準にコピーできます。

国の永久差異勘定科目

国の永久差異と一時差異の金額を地域の引当金ではなく国の引当金にのみ有効にできる新しいDataCategory勘定科目階層が提供されます。

州税損失勘定科目- 事前配分済

事前配分に基づいて税金損失を入力できる追加のサンプルの税損失勘定科目が提供されます。税金の詳細勘定科目をリンクするためにも使用できます。

税金勘定ロールフォワード(TAR)拡張機能

この拡張機能により、新しいデータ・カテゴリ列をTAR Webフォームに追加でき、次を含む新しい列に有効な既存の機能を提供できます。

- 今年から来年への期末残高のフロー
- 台帳ごとの期末残高勘定科目の残高を抽出するために使用されるデータ・カテゴリユーザー定義プロパティBookAcctNatおよびBookAcctReg
- 残高の符号を変更するために使用されるユーザー定義プロパティSwitchSign
- 通貨換算のために使用されるTARF支払と払戻のFXオーバーライド・レート

インストール情報

EPM System製品のインストールに関する最新情報は、*Oracle Enterprise Performance Management System* インストールおよび構成Readmeを参照してください。EPM System製品をインストールする前に、この情報をよく確認してください。

Smart ViewはEPM Systemインストーラと一緒にインストールされなくなりました。Oracle Smart View for Officeの最新リリースをダウンロードおよびインストールするには、<http://www.oracle.com/technetwork/middleware/smart-view-for-office/overview/index.html>に移動してください。

サポートされているプラットフォーム

EPM System製品のシステム要件およびサポートされているプラットフォームに関する情報は、*Oracle Enterprise Performance Management System*の動作保証マトリックスにスプレッドシート形式で提供されます。このマトリックスは、Oracle Technology Network (OTN)の「Oracle Fusion Middleware Supported System Configurations」ページに掲載されています。

<http://www.oracle.com/technetwork/middleware/ias/downloads/fusion-certification-100350.html>

サポートされている言語

EPM System製品のサポートされている言語に関する情報は、*Oracle Enterprise Performance Management System*の動作保証マトリックスの「Translation Support」タブにスプレッドシート形式で提供されます。このマトリックスは、OTNの「Oracle Fusion Middleware Supported System Configurations」ページに掲載されています。

<http://www.oracle.com/technetwork/middleware/ias/downloads/fusion-certification-100350.html>

サポートされているこのリリースへのパス

EPM Systemは、次のリリースからリリース11.1.2.4にアップグレードできます：

注意：アップグレードの手順は、*Oracle Enterprise Performance Management System* インストールおよび構成ガイドのEPM System製品のアップグレードに関する項を参照してください。

表1 サポートされているこのリリースへのパス

アップグレード・パスのリリース: 元	リリース11.1.2.4へ
11.1.2.x	メンテナンス・リリースを適用して、リリース 11.1.2.4 に移行します。 注： Oracle Hyperion Financial Managementでは、メンテナンス・リリースの適用はリリース 11.1.2.1 、リリース 11.1.2.2 または 11.1.2.3 でのみサポートされています。
11.1.1.4.x	リリース

アップグレード・パスのリリース: 元	リリース11.1.2.4へ
	11.1.2.3 にアップグレードしてから、メンテナンス・リリースを適用して、リリース
	11.1.2.4 に移行します。
リリース	メンテナンス・リリースを適用してリリース
11.1.1.0.x	11.1.1.4
から	に移行し、リリース
11.1.1.3.x	11.1.2.3
	にアップグレードしてから、メンテナンス・リリースを適用してリリース
	11.1.2.4
	に移行します。

このリリースで修正された問題

この項には、リリース11.1.2.4.000で修正された不具合が含まれます。以前のリリースで修正された不具合のリストを確認するには、Defects Fixed Finderを使用します。このツールを使用すると、所有している製品および現在の実装のリリースを識別できます。1回のクリックで、ツールは修正された不具合の説明とその関連プラットフォームおよびパッチ番号に関するカスタマイズされたレポートをすばやく生成します。このツールはこちらにあります:

<https://support.oracle.com/oip/faces/secure/km/DocumentDisplay.jspx?id=1292603.1>

- 20061526 - 期末残高が繰延税金データ・フォームおよびレポートでゼロである場合、VA割当て分類値がクリアされません。
- 19876000 - 「税金自動化」で、管轄(州など)に割り当てられている場合に引締めロジックが機能しません。
- 19508328 - 非アクティブ地域データ・フォームで、地域勘定科目が地域がないエンティティに対してアクティブです。
- 19049487 - レポートで、固定ペインを有効にしてレポートをスクロールすると、テキストが列に入り込みます。
- 18916266 - 税金勘定ロール・フォワード(TAR)で、列を拡張およびカスタマイズできる必要があります。
- 17966679 - 期首残高が将来年/期間に移入されていません。
- 17334685 - TaxvBook3レポートで、行の順序がデータ・フォームと一致しません。

既知の問題

このリリースで注意が必要な既知の問題は次のとおりです。

20287384 - 行の2つのレベルの展開を使用したレポートにより、レポートの右側でテキストが切り捨てられます。

20139048 - 税率のコピー・オンデマンド・ルールが親エンティティに対して機能しません。

20062637 - 一時差異の期末残高がゼロで、1つ以上のレポート標準(USGAAPやIFRSなど)が使用されている場合、税率の変更が正しく計算されません。

19064924 - 動的メンバー・リストがすべてのディメンションにサポートされていません。

19048767 - 見越計上に戻るおよび見越計上に戻る地域レポートを対応する頻度期間を使用して手動で更新する必要があります。

18902907、18902140 - フラット・ファイルとしてデータを抽出し、セル・テキストを抽出する場合、セル・テキストが正しく抽出されません。

18161526 - カスタム画面から「Excelにエクスポート」を選択すると、ファイル・フォーマットのエラーを受け取る場合があります。ファイルをExcelで開いた後、新しい名前でも保存し、適切なフォーマットを選択し、次にファイルを開くときにエラー・メッセージが表示されません。アラートは、拡張セキュリティ強化機能と呼ばれるExcel 2007で導入された新しいセキュリティ機能です。開いているファイル・コンテンツがファイルを開こうとするシェル・コマンドで指定された拡張機能の種類と一致することを確認します。現在、2つの回避策があります: 1つが「グループ・ポリシーの使用設定」、もう1つが「レジストリ・エディタの使用」です。詳細は、MicrosoftサポートWebサイトを参照してください。

17613251 - 管轄を変更する場合、連結プロセスが正しく機能しないことがあります。カスタム・ディメンションを変更した後、ルールを再ロードする必要があります。

ドキュメントの更新事項

英語版のみのドキュメント

次の新機能は、このリリースの英語版にのみ記載されています:

- 台帳/税金のロールフォワード
- 現在の未払税分析
- 繰延税金スケジュールの税金の影響を受ける金額の入力
- 税額控除勘定科目
- データのコピー
- 国の永久差異勘定科目
- 州税損失勘定科目- 事前配分済
- 税金勘定ロールフォワード(TAR)拡張機能

EPM System製品ドキュメントへのアクセス

Oracle Help Center (<https://docs.oracle.com/en/>)の最新のEPM System製品ガイドを確認します。表示またはダウンロードするドキュメントにアクセスするには、「Applications」アイコンをクリックします。「Applications Documentation」ウィンドウで、「EPM」タブを選択して、「Enterprise Performance Management」リンクをクリックします。

Oracle Technology Network (<http://www.oracle.com/technetwork/index.html>)およびOracle Software Delivery Cloud Webサイト(http://edelivery.oracle.com/EPD/WelcomePage/get_form)のデプロイメント関連のドキュメントも確認できます。または、EPM Systemドキュメント・ポータル(<http://www.oracle.com/us/solutions/ent-performance-bi/technical-information-147174.html>)にアクセスできます。そこで、My Oracle Support、EPM Supported Platform Matricesなどのリンクを確認します。

Internet Explorerのオンライン・ヘルプ

Internet Explorer 9を使用する場合に一部の表およびテキストがオンライン・ヘルプで正しく表示されない可能性があります。

PDFからのコード・スニペットのコピーと貼付け

PDFファイルからコード・スニペットを切り取って貼り付ける際、貼付け操作時に一部の文字が失われる場合があります、これによりコード・スニペットが無効になります。回避策: コード・スニペットをHTMLバージョンのドキュメントから切り取って貼り付けます。

ドキュメントのフィードバック

製品のドキュメントに対するフィードバックは次の電子メール・アドレスに送信してください。

EPMdoc_ww@oracle.com

次のソーシャル・メディア・サイトのEPM情報開発をフォローしてください:

- YouTube - <http://www.youtube.com/user/OracleEPMWebcasts>
- Google + - <https://plus.google.com/106915048672979407731>
- ツイッター - <https://twitter.com/HyperionEPMInfo>
- Facebook - <https://www.facebook.com/pages/Hyperion-EPM-Info/102682103112642>
- LinkedIn - http://www.linkedin.com/groups?home=&gid=3127051&trk=anet_ug_hm

アクセシビリティの考慮事項

オラクル社では、障害のあるお客様にもオラクル社の製品、サービスおよびサポート・ドキュメントをご利用いただけることを目標としています。EPM System製品は、製品のアクセシビリティ・ガイドに記載されているアクセシビリティの機能をサポートします。このガイドの最新版は、Oracle Technology NetworkのOracle Enterprise Performance Management System Documentation Library(<http://www.oracle.com/technology/documentation/epm.html>)にあります。

また、このReadmeファイルはHTML形式で提供され、アクセシビリティ機能がサポートされます。

著作権情報

Oracle® Hyperion Tax Provision Readme,
Copyright © 2015, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.

著者: EPM 情報開発チーム

このソフトウェアおよび関連ドキュメントの使用と開示は、ライセンス契約の制約条件に従うものとし、知的財産に関する法律により保護されています。ライセンス契約で明示的に許諾されている場合もしくは法律によって認められている場合を除き、形式、手段に関係なく、いかなる部分も使用、複写、複製、翻訳、放送、修正、ライセンス供与、送信、配布、発表、実行、公開または表示することはできません。このソフトウェアのリバース・エンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイルは互換性のために法律によって規定されている場合を除き、禁止されています。

ここに記載された情報は予告なしに変更される場合があります。また、誤りが無いことの保証はいたしかねます。誤りを見つけた場合は、オラクルまでご連絡ください。

このソフトウェアまたは関連ドキュメントを、米国政府機関もしくは米国政府機関に代わってこのソフトウェアまたは関連ドキュメントをライセンスされた者に提供する場合は、次の通知が適用されます。

U.S. GOVERNMENT END USERS:

Oracle programs, including any operating system, integrated software, any programs installed on the hardware, and/or documentation, delivered to U.S. Government end users are "commercial computer software" pursuant to the applicable Federal Acquisition Regulation and agency-specific supplemental regulations. As such, use, duplication, disclosure, modification, and adaptation of the programs, including any operating system, integrated software, any programs installed on the hardware, and/or documentation, shall be subject to license terms and license restrictions applicable to the programs. No other rights are granted to the U.S. Government.

このソフトウェアまたはハードウェアは様々な情報管理アプリケーションでの一般的な使用のために開発されたものです。このソフトウェアまたはハードウェアは、危険が伴うアプリケーション(人的傷害を発生させる可能性があるアプリケーションを含む)への用途を目的として開発されていません。このソフトウェアまたはハードウェアを危険が伴うアプリケーションで使用する際、安全に使用するために、適切な安全装置、バックアップ、冗長性(redundancy)、その他の対策を講じることは使用者の責任となります。このソフトウェアまたはハードウェアを危険が伴うアプリケーションで使用したことに起因して損害が発生しても、Oracle Corporationおよびその関連会社は一切の責任を負いかねます。

OracleおよびJavaはオラクルおよびその関連会社の登録商標です。その他の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。

Intel, Intel Xeonは、Intel Corporationの商標または登録商標です。すべてのSPARCの商標はライセンスをもとに使用し、SPARC International, Inc.の商標または登録商標です。AMD, Opteron, AMDロゴ、AMD Opteronロゴは、Advanced Micro Devices, Inc.の商標または登録商標です。UNIXは、The Open Groupの登録商標です。

このソフトウェアまたはハードウェア、そしてドキュメントは、第三者のコンテンツ、製品、サービスへのアクセス、あるいはそれらに関する情報を提供することがあります。適用されるお客様とOracle Corporationとの間の契約に別段の定めがある場合を除いて、Oracle Corporationおよびその関連会社は、第三者のコンテンツ、製品、サービスに関して一切の責任を負わず、いかなる保証もいたしません。適用されるお客様とOracle Corporationとの間の契約に定めがある場合を除いて、Oracle Corporationおよびその関連会社は、第三者のコンテンツ、製品、サービスへのアクセスまたは使用によって損失、費用、あるいは損害が発生しても一切の責任を負いかねます。